【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和5年6月16日(2023.6.16)

【国際公開番号】WO2020/012092
【公表番号】特表2021-524562(P2021-524562A)
【公表日】令和3年9月13日(2021.9.13)
【出願番号】特願2021-500710(P2021-500710)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｃ 17/02(2006.01)
Ｆ１６Ｃ 17/26(2006.01)
Ｆ１６Ｃ 33/06(2006.01)
Ｆ１６Ｃ 33/74(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｃ 17/02 Ｚ
Ｆ１６Ｃ 17/26
Ｆ１６Ｃ 33/06
Ｆ１６Ｃ 33/74 Ｚ

【誤訳訂正書】
【提出日】令和5年6月8日(2023.6.8)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３６】
単一の連接リングの場合において、摩耗は、主として、円周の１／３にわたって延在する角度方向セクタにわたって局所化される。本願発明の場合では、内側リング２０は、外側リング１０に対して回転し、これにより、潜在的な摩耗面、ひいては構成部材の耐用年数を大きく増加させる。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
少なくとも１の自由度を有するヒンジ接続型構成部材であって、少なくとも２つの同心状リング（１０、２０；１０、２０、３０）を備え、前記同心状リングが中心軸（Ｘ１）回りに互いに対して回転可能であり、当該同心状リング間に摩擦界面（４０；４０、５０）を画成し、
－内側摩擦面（１２）を有する外側リング（１０）と、
－外側摩擦面（２２）と、前記中心軸（Ｘ１）回りの回転または振動、及び／または、前記中心軸（Ｘ１）方向の平行移動において当該構成部材（１）によって案内される移動可能部材（２）を受けることを意図した内側摩擦面（２４）と、を有する内側リング（２０）と、
を有することを特徴とするヒンジ接続型構成部材。
【請求項２】
前記リング（１０、２０；１０、２０、３０）間にある前記摩擦界面（４０；４０、５

０）が、潤滑剤（Ｌ）を受け入れ、
当該構成部材（１）が、前記摩擦界面（４０）からの潤滑剤（Ｌ）の漏洩を防止するように設計された封止手段（６０）を備えることを特徴とする請求項１に記載のヒンジ接続型構成部材。
【請求項３】
前記外側リング（１０）に対する前記内側リング（２０）の軸方向及び角度方向の変位を制限する素子（６２、６４、６６、６８）を備えることを特徴とする請求項１または２に記載のヒンジ接続型構成部材。
【請求項４】
前記摩擦面（１２；２２；２４）のうちの少なくとも１つが、前記リング（１０；２０；３０）のベース材料とは異なる物理的性質を有する表面処理または被覆（１６；２６）を備えることを特徴とする請求項１から３のいずれか１項に記載のヒンジ接続型構成部材。
【請求項５】
前記摩擦面（１２；２２；２４）のうちの少なくとも１つが、潤滑剤（Ｌ）の貯留部として機能できる配列（１８；２８）を備えることを特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載のヒンジ接続型構成部材。
【請求項６】
前記摩擦面（１２；２２；２４）それぞれが、前記リング（１０；２０；３０）のベース材料とは異なる物理的性質を有する表面処理もしくは被覆（１６；２６）、及び／または、潤滑剤（Ｌ）の貯留部として機能できる配列（１８；２８）、を備えることを特徴とする請求項１から５のいずれか１項に記載のヒンジ接続型構成部材。
【請求項７】
前記外側リング（１０）及び前記内側リング（２０）が、金属であることを特徴とする請求項１から６のいずれか１項に記載のヒンジ接続型構成部材。
【請求項８】
２つの前記同心状リング（１０、２０）のみを備え、
前記摩擦界面（４０）が、前記外側リング（１０）の前記内側摩擦面（１２）と前記内側リング（２０）の前記外側摩擦面（２２）との間に直接画成されていることを特徴とする請求項１から７のいずれか１項に記載のヒンジ接続型構成部材。
【請求項９】
少なくとも３つの前記同心状リング（１０、２０、３０）を備えることを特徴とする請求項１から７のいずれか１項に記載のヒンジ接続型構成部材。
【請求項１０】
請求項１から９のいずれか１項に記載のヒンジ接続型構成部材（１）と、回転、振動及び／または平行移動において前記構成部材によって案内される移動可能部材（２）と、を備えることを特徴とする機械システム。